

健(検)診で カラダのメンテナンスも！

☎ 保険健康課 ☎84-0328

早期の生活習慣病や「がん」は、自覚症状がないことがほとんどです。しかし、これらの病気は、早期発見・早期治療をすることで、症状の改善や完治の可能性が高まります。

年に1度は健診やがん検診を受けて、健康を維持しましょう。
受診方法等の詳細は、町 HP または今月号のおしらせ版 P7~8 をご確認ください。

詳しくはこちら



▲がん検診

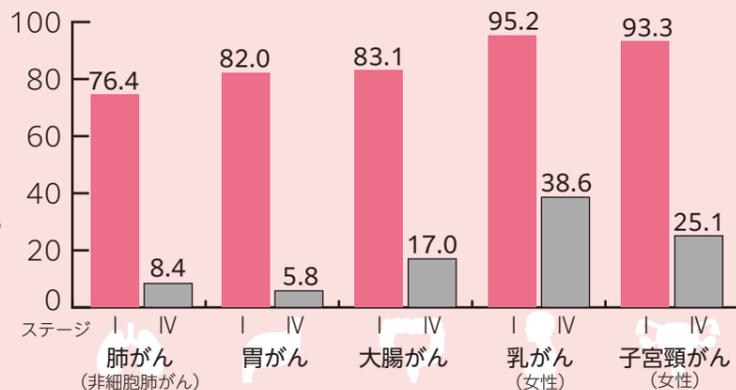


▲特定健診・
しいがし健診

がん検診って重要かも!?

がんは、「早期発見・早期治療が重要」という言葉をよく耳にします。実際、がんの早期の段階である「ステージⅠ」と、がんが進行した「ステージⅣ」で、5年後の生存率はどのくらい変わるのでしょ

◆5年相対生存率(%)



出典：がん診療連携拠点病院等（都道府県推進病院会）における5年実測生存率（2014～2015年診断例）
総合病期（UICC TNM 分類総合ステージ）別5年実測生存率 男女別
公益財団法人 がん研究振興財団「がんの統計 2024」

町で受診できるがん検診の項目と比較してみても、生存率が倍以上違います。
「早く発見できていれば…」と後悔しないためにも毎回受診することが大切です。



特定健診・しいがし健診は受診したほうがいい!?

食生活の乱れや運動不足、飲酒、喫煙等の積み重ねにより、気づかないうちに「生活習慣病」になっていることがあります。生活習慣病や慢性疾患から、がんや心臓病、脳疾患などの大きな病気につながる場合があります。

特定健診やしいがし健診（高齢者健診）では、自身の今の健康状態を検査数値で見ることができます。毎年受診することで、自覚症状の表れにくい病気の早期発見や生活習慣の早期改善につながります。

健診結果によって、保健師や管理栄養士が特定保健指導を行い、皆さんが健康に過ごすことができるように健診後もサポートします。

また、年齢を重ねるごとに体の特性も変わっていきます。これからも健康に過ごすために、日々の生活の見直しと毎年の受診をするようにしましょう。

みんなも受診しよう！
一部のがん検診は
同時に受診できるよ



開成町の特定健診受診率は
神奈川県各市町村で **2** 位

対象者の約 **5** 人に **2** 人が
特定健診を受診しています！

出典：神奈川県国民健康保険団体連合会

「部活動の地域移行」って何？



生徒が文化・スポーツに触れる機会の確保や、中学校教員の負担軽減のため始まった「部活動の地域移行」。開成町では、どのように進められているのか、今後中学校の部活動がどうなるのか、町の担当者や部活動の指導者の方にお話を聞いてみました！

☎ 企画政策課 ☎84-0312

今年から

部活動の地域移行、はじまりました

開成町では、次のことに取り組みます。

1. 休日の部活動を段階的に、外部の指導者に任せていく
2. 教員や指導者などの個人に、過度な負担がかからない運営体制をつくる
3. 生徒のニーズを把握していく

文命中学校「吹奏楽部」「サッカー部」の地域移行をスタートしました。ニュース映像は下の二次元バーコードから！



学校教育課
おおさわ はやと
大澤 隼人



▲初回の活動が4月13日に行われました

Interview

指導者に聞いてみました

地域移行のスタートを切った、吹奏楽部の指導者・本澤さんに質問してみました。



ほんざわ なおゆき
本澤 尚之 さん

パークリー音楽大学卒業。作・編曲家。小中高生ビッグバンド「開成ジュニアアンサンブル」代表。

Q¹ 4月に初の活動を迎えた感想は？

A 楽器のパート指導や個人のフォローから始めました。もともと顔見知りの生徒さんもいたので、緊張せず、安心して指導ができました。

Q² 地域移行で課題に感じることは？

A 生徒さんが練習に集中できるように、平日と休日の活動の連携をスムーズに行うことです。また、中学校で初めて吹奏楽を始めたいと思って入ってきた、1年生のサポートなどもしていきたいですね。

Q³ これからの意気込みを教えてください！

A 実際に部活動の指導に関わってみて、楽しさを感じています。13年間、ビッグバンドを指導してきた経験を生かして、生徒さんのレベルアップにつなげます！

生徒さんたちのために、指導者としてのスキルを磨いていきます！



取材後記

お会いしてみたかった本澤さんに取材できて感激！小さな町の小さなムーブメントですが、何だか楽しそうワクワクしてきます。生徒さんたちの未来が、本澤さんの音楽の魔法でもっともっと広がっていきますように！

まちづくり情報特派員 ほりおか かずみ
堀岡 一美